

岡崎市社会資本整備総合交付金
「東岡崎駅周辺地区整備計画」事後評価 議事録

日 時：令和3年3月3日（水）ほか

場 所：オンライン会議にて開催

出席者：

（評価委員）

委員：豊橋技術科学大学教授 井上 隆信 氏

委員：名城大学教授 鈴木 温 氏

委員：名古屋市立大学准教授 三浦 哲司 氏

委員：日本政策投資銀行次長 加藤 秀行 氏

（事務局）

岡崎市総合政策部企画課係長 鈴木

岡崎市総合政策部企画課主事 増澤

岡崎市都市整備部拠点整備課副課長 富田

岡崎市都市整備部拠点整備課係長 山本

岡崎市都市整備部拠点整備課主査 濱田

（傍聴人）

なし

事務局	（「東岡崎駅周辺地区整備計画」の、指標、実績、指標達成状況、評価について説明）
井上委員	指標1について、西改札口乗降客数のデータと比較することで、東改札口に利用者が転換していることを客観的に評価できるのではないかと。
事務局	コロナ禍の影響により駅全体の乗降客数が減少しているなかで、東改札口の乗降客数が増加していることを確認している。
加藤委員	駅全体の乗降客数が減少しているなかでも東改札口の乗降客数が増加している状況を考慮すれば、一定の整備効果があったとする評価は妥当である。
井上委員	指標2について、単純に利用者が増加したと評価するよりも、今まで北口一般車乗降場を利用していた自動車が、東岡崎駅前広場と明大寺交通広場に分散され利便性が向上したことを評価したほうが適切ではないかと。
三浦委員	東岡崎駅前広場や明大寺交通広場の整備により新しい歩行者動線が整備されたことで、駅を利用する歩行者の安全性が向上したことを評価に加えてもよいと考える。
事務局	指摘のあった事項について表現を見直したい。
鈴木委員	ペDESTリアンデッキなど別事業の整備効果を、本事業の整備効果のように評価することは適切ではない。
事務局	指摘のあった表現を見直したい。
事務局	（今後のまちづくり方策とフォローアップの計画について説明）
井上委員	利用促進を図るためには自発的な行動に呼びかけるだけでなく、具体的な施策として要請することも必要である。
鈴木委員	駅周辺の整備計画として、渋滞対策やバリアフリー対策について適切に考えられている。
三浦委員	企業送迎バスや観光バスの乗降所についても整備効果を評価できると望ましい。
加藤委員	整備した施設の稼働率を上げることは大切である。

【結果】

この事後評価案が妥当であることを判断する旨、委員一致で採決された。